



# 島根県益田市 美都町観光案内

■観光のお問い合わせ/美都町特産観光協会(美濃商工会内)  
☎ (0856) 52-3160 HP: <http://mitocho-kankou.jp/>

## ① ひだまりパークみとゴルフ広場

☎ (0856) 52-7056



益田川ダム畔の「ひだまりパークみと」のゴルフ広場では波田川流域に面した 97,000㎡ の河川敷でグラウンド・ゴルフが楽しめます。日本グラウンド・ゴルフ協会認定コース数は 14 コース 112 ホールで国内最大級です。澄んだ空のもと周辺の四季の美しい緑と波田川の清流に囲まれた、広々とした芝生の上で日頃のストレスを解きほくしてください。

## ② ひだまりパークみとスポーツ交流広場

☎ (0856) 52-7056



全天候型で快適にスポーツが楽しめる「さくらドーム」は、2,142㎡の人工芝グラウンドです。テニス3面、フットサル2面、ゲートボール4面のコートを提供することができます。その他屋外には、せせらぎ公園や天然芝のサッカーコート(2面)と多目的広場などがあります。

## ③ 道の駅 サンエイト美都

☎ (0856) 52-3644



国道191号線に面し、美都温泉入り口にある道の駅で、美都町の特産品の販売コーナーや食堂などがあり、観光客やドライバーの憩いの場として人気を集めています。



## ④ 美都温泉「湯元館」

☎ (0856) 52-2100



つつつとした、まろやかなお湯が評判のアルカリ性単純温泉。効能は神経痛、関節炎、冷え性、打ち身、痔疾など。美都温泉の中核施設である「湯元館」には、大浴場、露天健康風呂、食堂などを完備し、すぐ側を流れる矢阿川の対岸には旅館や民宿もあり、町民や周辺の市町村から訪れる日帰りや宿泊の湯治客で賑わっています。早期5時から営業しています。

## ⑤ みと自然の森

☎ (0856) 52-2212



鮮やかな緑、澄んだ空気に包まれて、思いきり心身をリフレッシュできる場所。それが「みと自然の森」です。山小屋が10棟、バーベキューハウスが2棟、調理設備を備えたキャンプ場、遊歩道などがあり、家族連れやグループで賑わいます。特に初夏の新緑、秋の紅葉の美しさはひとしお。夏には森の中の清流で釣りや川遊びも楽しめます。

## ⑥ 四ツ山城跡



屹立して東西に並んでおり、その姿・形のみならず地域の特徴として人々に親しまれています。

鎌倉時代の中期に益田氏が築城した山城です。山頂やその周辺には、山の斜面を平らに削って利用された削平地(さくへいち)である郭(くるわ)や井戸、防御設備の壁垣(たてぼり)などの跡が残っており、当時の様子がうかがえます。四ツ山は名前のおり高さ(標高220m)も形も同じ4つの山が

## ⑦ 秦佐八郎博士生家秦記念館

☎ (0856) 52-2415



秦佐八郎は明治6年(1873)美都町都茂に生まれ、26歳の時に上京して北里柴三郎博士に師事、細菌学の研究に励み、その後ドイツに留学し、エルリッヒ博士とともにスピロヘータの特効薬サルバルザール606号を発見しました。以後も北里博士の下で研究を続けて数々の業績を残しました。生家の隣には秦記念館があり、博士の一生を物語る多数の資料と遺品が展示されています。

## ⑧ 大久保広兼石州和紙資料館 かみの宿

☎ (0856) 52-2508(昼) / (0856) 52-2750(夜)



承応元年(1651)に御用紙漉を仰せつけられた大久保(廣兼)の初代・廣兼又兵衛重長以後、200年の間、浜田藩の御用紙漉を務めた廣兼家の13代に及ぶ資料を展示しています。隣接して宿泊施設「かみの宿」があります。

## ⑨ 金谷城山桜



金谷の入船山城跡にあり、築城当時に植えられたと伝えられています。樹齢580年以上、樹高15m、根回り周囲7.15m。地上2~3mのところ大きく分岐し、その枝張りは東西19m、南北25mあります。樹種はエドヒガン(アズマヒガン)。鳥根県の指定文化財・天然記念物に指定されています。

## ⑩ 若杉天然杉



樹齢数百年といわれる杉の老木(直径2.3m)のほか、一帯には直径60cmを超える天然杉30数本、樺、松、樅などの大樹も見られ、貴重な天然林として保存されています。

## お土産 & 特産品

### ゆず製品



美都町を代表する特産品といえば柚子です。近年では柚子に含まれている効果効能が再注目されています。爽やかな香りが特長の「ゆずっこ、ゆずサイダー、ゆずみそ、ゆずポン酢、ゆずドレッシング、ゆず果汁」などの加工品が多数商品化されており、美都町のお土産品として親しまれています。

### いちご



肥沃な土地と美しい水に育まれた美都いちごは、みずみずしい果肉と、ほどよく甘酸っぱいいちご本来の味が好評です。そのまま食べてよし、ジャムなどの加工品にしても良しの、美都町が誇る名産品です。

## ⑪ 双川峡・養戸の滝



美都町を代表する景勝地である双川峡の中心をなす養戸の滝。古樹の間から20mあまりの水束が落下するさまは壮観です。滝の近くには京都清水から飛来したと語り伝えられる十一面観音を安置した観音堂や銀杏の大樹(胸高周囲5.6m、高さ33m)がそり立っています。入口の駐車場から滝に至る遊歩道の途中には、六地藏や町内外の人が詠んだ短歌を刻んだ石碑が点在し、訪れる人を楽しませてくれます。※平成29年現在、双川峡・養戸の滝は落石による工事の為、遊歩道は進入禁止です。

## 石見神楽

☎ 丸茂神楽社中 (0856) 52-2058 (事務局)  
☎ 三谷神楽社中 (0856) 52-2083 (代表)



美都町には、無形民俗文化財指定の三谷神楽社中と丸茂神楽社中の2社があります。三谷神楽社中は明治初年の始まりで、六調子から現在は八調子。丸茂神楽社中は、明治25年に美都町に移り住んだ大野家を中心として結成され、現在に至ります。地域の秋まつりなどで奉納されます。



## 観光農園

☎ 有限会社アグリみと (0856) 52-3298  
☎ 田中農園 (0856) 52-2086



美都いちごは甘くて美味しいと評判です。毎年春にはいちご狩り体験が楽しめる、美都いちごまつりが開催されます。採れたてでフレッシュないちごを是非ご賞味ください。

## 美都町恒例イベント

- 3月 里の神楽
- 4月 金谷城山桜まつり
- 5月 美都温泉まつり
- 6月 美都はたるまつり
- 7月 仙道夜市
- 8月 納涼石見神楽鑑賞会
- 11月 みとふるさとまつり  
美都町神楽競演大会